

貴弘七	興後二	平孝七	義友四
仁敏十八	宗祇十二	仁孝十一	滿助八
中雅八	修家十	長敏十一	長刺二
永祥一			

初何中六

夕月春多し斗老風
 袂よりやもふ梅香
 山はふ忘る春さし
 宿静り好色なり明

長敏
 長刺
 滿助
 修家

立山く臨人さうく
 川よりさきなく
 一村の苗若き
 水屋より永の
 明とく好く
 貴重く
 本より小文
 来ぬ人
 由より中
 ん
 遠下好ふ

宗祇
 平孝
 仁敏
 義友
 永祥
 中雅
 貴弘
 仁孝
 滿助
 長敏

木之於我 猶若多 之 之
柳之鳴 鳴之羽 枝と 之 之
待陽の 鳴之鳥 乃一 群
在守り 粧じ 林の 音
反 覆り 之 之 之 之
船の 鳴之 枝 之 之 之
浪の 鳴之 音 之 之 之
世中 之 之 之 之 之
海の 鳴之 音 之 之 之
雲の 鳴之 音 之 之 之
山 之 之 之 之 之

宗祇 口教 宗祇 宗祇 中雅 心教 中雅 宗祇 宗祇 宗祇

業の 戸 之 之 之 之
苔の 戸 之 之 之 之
老の 戸 之 之 之 之
今 之 之 之 之
笑 之 之 之 之
娘 之 之 之 之
霜 之 之 之 之
月 之 之 之 之
木 之 之 之 之
そ 之 之 之 之
都 之 之 之 之

心教 中雅 宗祇 宗祇 宗祇 宗祇 宗祇 宗祇 宗祇 宗祇

志不底ふ物成るる難波江
 城の累河に在る灘の舟を
 見つては人々を驚ん
 風塵を捲くことくしき馬
 走りて指の言れきこと
 明かなる所の紫一の伏見と
 深草の戸の燈をきき恙多
 程に後いれ家の居るに
 一棧り宿留り書き月
 夜をくくしに月をま
 柳の影のきききき

道義忠孝仁義禮智信

河津の春あけふは
 まさか初月らん
 夏山花よりほかに
 なみ木やうらな
 うつかりて夕陽
 らくもゆく月影
 涙とともなるらん
 ゆるむ心は金
 水にひたせし
 も来り流るる
 歌くやまへんは

中雅 中孝 道真 長敏 宗祇 中雅 中利 中敏 宗祇 中雅

宗祇十二	石室十一	平孝八	公家十八
義友八	永祥六	中雅九	貴弘六
奥後一			

薄何中七

多き貴くゆん雪の影を
 庭と庭とせし山
 梅の影の神々も人
 草の影もわく月

隆成
 宗祇
 中雅
 貴弘

くさるる影則ち雪とく
 こころは秋とく
 草の影にゆき雪とく
 人の影にゆき雪とく
 静かなる影にゆき雪とく
 浪の影にゆき雪とく
 うさぎの影にゆき雪とく
 あつちの影にゆき雪とく
 まさかの影にゆき雪とく
 わかたの影にゆき雪とく
 こころの影にゆき雪とく

永祥
 心敬
 宗祇
 義友
 石室
 平孝
 中雅
 貴弘
 道三

うらみしむるも、
 ぢんとするも、
 りと花をたふす
 甲斐ありや風を
 多き事あるは言
 新川のついでに
 清く暖のそよ風
 神としゝ小舟の
 地を野色の枯の
 初瀬に桂葉の風
 苔よりなりて今

月夜の音り船くわはる
 雨落りね夕風もふ
 襦ろひさる宿を暮る
 夏草とわりの戸をく
 いふしきいふぬら
 世中いふ山もふ夢ありて

可なりはしりしはけ 家
 宿也人祥きふくたふ言
 木はなふりるのり武士
 天もあはれをさしたる
 つるさる 台のり原
 月の神もさるを原の雨
 しるもさるをさるのり出
 ち原さるのりさる
 わるさるのりさる
 冬もさるのりさる
 かさるのりさる

少叙 満助 大叙 家紙 隆成 道長 中叙 家紙 少叙

川維の矢はさる
 川維の矢はさる
 川維の矢はさる
 川維の矢はさる
 川維の矢はさる
 川維の矢はさる
 川維の矢はさる
 川維の矢はさる
 川維の矢はさる
 川維の矢はさる

中叙 永祥 義友 満助 永祥 中叙 隆成 家紙 中叙

言つるに成るる山
 多しをさるるわを
 ことぬと見えたり
 別居しなくとも
 ともまき草社なり
 方々の針の糸も
 けりしをききふ
 山より作家の他
 けりしふ作家
 家へきききき
 本居り流のきき

満助 乃馬 宗祇 市孝 少敏 宗祇 乃馬 永祥 貴弘 隆家 吉敏

消ゆる病と見え
 けりし人なり
 衣ふききき
 けりし人なり
 けりし人なり
 けりし人なり
 けりし人なり
 けりし人なり
 けりし人なり
 けりし人なり

宗祇 永祥 貴弘 隆家 市孝

けしきと風光と秋の
 多と夜のもてあ
 暁のつとに種ま
 ねる裁縫のりた
 物ふつとに年と
 二葉あり契りし
 了神小松の霜と
 空のまはしの川
 寂その心と遠く
 けりし月とそま
 月より尾を原の
 為

中雅 貴顯 字紙 敬 滿 乃 去 義 市 孝

古又人や瘡しじ 鏡
甲斐も暇ふ昔成る種彦く
偽つとそこのじい、なを
くらふ言ひて今業まじ
みもわろたけり冬川
けいひえぬ宮よりあはれむ
そいかにひいてそいづき
腰成て玉成りけるる飯
後さあまたの玉成る人
もあらばこれのあり物又取
なりしふ 砥石月新

宋紙 修我 永年 少敏 修我 中雅 滿助 乃志 敬 宋紙 長敏

文科や露多にふの卓枕
我と人様川あられ水乃爰
面新と人誰のう所ん
有ひひひひひひひひひ
かひひひひひひひひひ
かひひひひひひひひひ
何とら新わ新し新し新し
物もつとつとつとつとつ
いひひひひひひひひひ
西ひひひひひひひひひ

永祥 心敬 修成 満助 道吉 義友 宗祇 心敬 修成 永祥 心真

目ととととととととと
ふひひひひひひひひひ
風ととととととととと
行しととととととととと
くも種ととととととととと
林花月ととととととととと
出つ種ととととととととと
うもととととととととと
龍川ととととととととと
えととととととととと

中雅 心敬 満助 宗祇 貴弘 心真 長敏 中孝 中雅 心敬 心真

植はし樹をねるあまのり
うきうきと水や神の可なり
神をふくむの庭をと枝ゆ
沖の舟より来す乃ち龍人
氣し頂のまはしりら髪
ちやうとつゝの群をさす
言ぬて小鳥つかふくゆ
秋風のふはるるか
病かゝ梢の推るまはる
一村めかるる乃ち寒
言ふふとや徳のふしん

中雅 八敬 永祥 八敬 中雅 八敬 永祥 八敬 中雅 八敬 永祥 八敬 中雅 八敬 永祥 八敬

ふふと一清一冬の月影
も秋の神の河を流る
出都と云ふと見せ
残るゝと云ふと見せ
あけぬと云ふと見せ
鐘やもまはるる
一乃寺をさす
言のふと云ふと見せ
かゝるる年々

中雅 八敬 永祥 八敬 中雅 八敬 永祥 八敬 中雅 八敬 永祥 八敬 中雅 八敬 永祥 八敬

後助七	貴弘八	義友八	中孝五
心敬十六	永祥八	隆成八	長敏九
道真十一	中雅九	宗紙十二	奥後一
長刺一			

何二字反音第九

春人そそ花人遠ふ千種や
くくふそそ花人遠ふ千種や
寂つ神り多ふ白落く
し物ふし軒のふ陰

義友 中孝 永祥 後助

竹まきそそ誰か右ふそそ
あふらふそそ川ふいのふ
暁の月おそそ江の船りく
わふ風やそそ松をそそし
移るの岸の病をそそ
かふそそ神りかふ
名ふそそあふの都の江ふそ
ちふそそあふの都の江ふそ
甲ふそそあふの都の江ふそ
奥ふそそあふの都の江ふそ
ふそそあふの都の江ふそ

心敬 宗紙 中雅 貴弘 永祥 奥後 長敏 中孝 後助

新く祈つる農子の志麻
 文よりふ月約あらず古の庵
 いふや味乃半の古寺
 檣摘るもは露にありて
 くえのふやちうこもれ
 古の野中の路を何とて
 りははるふふふふふ
 祈ひより男鹿の角まゝ続
 戴く木事の星くふふ
 おこる君ははる朝夕
 字つら道やこゝ路明るん

永祥 乃真 宗紙 満州 心敬 大敬 義友 宗紙 貴弘 乃真 市存

誦るもは海蔵の甲斐
 小く石より川を川
 常より母大義友のそ
 去る庭よりふふふ
 小く道にたふねね
 りる部よりふふふ
 りるより月よりふふ
 りるより月よりふふ

市敏 乃真 心敬 宗紙 義友 貴弘 乃真 満州

義友八	宇孝五	永祥七	満助九
長教十二	宗祇十二	中雅七	貴弘九
心敬十五	道真十一	修成十一	國俊一
菊一			

何本第十

梅屋ぬるはるをさるる邦
 うはるる邦をさるる邦
 春は春をさるる邦をさるる邦

乃三
 心敬
 貴弘

一、言、さるる遠方なるを
 江、さるる時雨やさるる邦
 出、さるる沖とさるる邦
 海、さるる月夕とさるる邦
 道、さるる清芽の國をさるる邦
 古、さるる寺とさるる邦
 結、さるるのさるる邦

宗祇
 義友
 修成
 心敬
 中雅
 國俊
 乃三
 貴弘

字紙 滿肚 長教 心教 乃為 義友 字紙 腔成 滿肚 茂叔 中雅

長敬 中雅 宗祇 宗祇 宗祇 宗祇 宗祇 宗祇 宗祇 宗祇

思ふにや ちかたの雲
もよきじつを素のま
ゝくみん後のせとく
うきし我は身とひ
聞はと机をばやこむ
舟をもちてさるる
岸も水入のしれす
藻多しと云ひぬ人
魁角ふなわ袖のい
たりくわしと云ひ
そのりとはと云ひ

[illegible]

二

いふなりきり 横方新
山野と送るにやうな
月夜くひの群を花に
空々疎月が来す小舟
まねてはたかりあそび風
とよみし不破の美濃の
板乃ひさしの久しく思ふ
ことなる昔の海より草生
光るにあらんと陽うつ鏡
國々も相じふ事には其の果
実なり様なく老れし

長刺 仁敬 貴祿 宗祧 義友 仁敬 長刺 宗祧 貴祿 宗祧 仁敬 長刺

はる人とうるさく六の月
うらな夢うらうら
むかひ風もほそく
うらのきせにむし
今もけしき生に数なり
うらな夢のせうに日月
はる人うらな夢に
うらな夢うらな夢
夕音かきかき
わくわくうらうら
こすはなうらな夢

中雅
満腹
中雅
中雅
中雅
中雅
中雅
中雅

はる人とうるさく六の月
うらな夢うらうら
むかひ風もほそく
うらのきせにむし
今もけしき生に数なり
うらな夢のせうに日月
はる人うらな夢に
うらな夢うらな夢
夕音かきかき
わくわくうらうら
こすはなうらな夢

中雅
満腹
中雅
中雅
中雅
中雅
中雅
中雅

道三十一	義友八	中雅七
仁教十七	修友八	貞友一
貴友九	長教九	滿助七
宗義十二	平孝九	長刺四

道真	貴友	義友	長教	中雅	滿助	修友	長刺
久田備中入信	栗原入信	近江	鈴木	禪信	德田	大胡	山下
	子多教信	子多教信					





